

トピックス

水辺とまちが一体となつた 「かわまちづくり」計画の新たな登録

国土交通省（国交省）から、水辺を活用し、地域の賑わいの創出を支援する「かわまちづくり」計画登録の発表が3月に行われました。平成21年度に創設された「かわまちづくり支援制度」により市町村などからの申請に基づき計画が登録され国交省のハード・ソフトの両面の支援が受けられます。今回は全国で22か所が登録され、近畿地方（近畿地方整備局管内）では、

表の5か所が登録されました。3月から6月に登録証の市町村への伝達式が行われました。今回の登録により近畿地方では登録が、合計で22か所になりました。

近畿地方（近畿地方整備局管内）では、表の5か所が登録されました。3月から6月に登録証の市町村への伝達式が行われました。今回の登録により近畿地方では登録が、合計で22か所になりました。

近畿地方（近畿地方整備局管内）では、表の5か所が登録されました。3月から6月に登録証の市町村への伝達式が行われました。今回の登録により近畿地方では登録が、合計で22か所になりました。

かわまちづくり支援制度

国交省からは次のように説明されています。

「かわまちづくり」とは、地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各自の取り組みを連携することにより、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を行う取組です。」

計画の登録による国交省の支援

河川の高水敷や護岸などをまちの整備と一緒に化することによって地域の整備や水辺の活用をはかるために、登録により国交省による親水護岸などのハード面の整備や、河川空間へのオーブンカフェの設置などの営利活動による地域の二ーズに応じた河川空間の多様な利用を可能にする「都市・地域再生等利用区域」の指定などのソフト面の支援が得られ、「河川空間のオープン化」の適用が受けられます。

河川空間のオープン化
公共空間である河川を占的に利用することを「占用」と言います。占用に当っては、河川法に基づく「河川敷地占用許可準則（準則）」による河川管理者の許可が必要です。従来は、

計画	場所	河川名	事業主体
宇治川天ヶ瀬ダムかわまちづくり	宇治市	淀川水系宇治川	宇治市
和束町木津川かわまちづくり	京都府和束町	淀川水系木津川	和束町
堺市かわまちづくり	堺市	大和川水系大和川	堺市
名張かわまちづくり	名張市	淀川水系名張川	名張かわまちづくり協議会
櫻井川かわまちづくり	泉佐野市	櫻井川水系櫻井川	泉佐野市

近畿地方の平成31年の計画登録（近畿地方整備局HPより）



堺市かわまちづくりの計画
【資料提供：近畿地方整備局】



難波八阪神社の道頓堀川船渡御【写真提供：大阪市】

公共的な利用（例えば、自治体による公園の設置）などに限定的でしたが、河川敷地を水辺空間として積極的に活用したいという要望の高まりを受け、平成23年と28年の準則の改正により、上記の「都市・地域再生等利用区域」の指定を受けた地域において河川空間のオープン化として占用の特例が設けられ、営業活動を行う民間事業者による河川敷地内のオープンカフェなどの利用が認められ、河川と一体となつた地域の活性化に貢献することが可能になりました。

「かわまちづくり」の先行例

平成21年に「かわまちづくり」の第1号の一つとして指定を受けた大阪市の道頓堀川では、イベントやオープンカフェの利用により、インバウンドの観光客を含んだ多くの人々で活況を呈しています。



本誌は、近畿の「道の駅」、一部の府県および公共施設などに配布しています。
インターネット環境をお持ちの場合は、
<http://www.kc-center.co.jp/suishitsu/>
においても最新号とバックナンバーをご覧になれます。
誠に申し訳ございませんが、バックナンバーの配布は行っておりませんので、ご了承ください。

編集後記

今号の「川シリーズ」は、琵琶湖の流入河川を取り上げました。いうまでもなく日本最大の湖ですが、取材では湖の奥深さと歴史の豊富さを感じると同時に、地元の方々の琵琶湖を大切に思う気持ちに触れ感銘を受けました。川合先生の「由良川水害の歴史と防災対策」は今号が最終回です。豊富な資料で分かりやすく連載していただき、ありがとうございました。鈴木先生の「京都の水文化」の連載が新しく始まりました。文化的側面からの水についての話題にご期待ください。今後とも水の多角的な話題を取り上げていきますので、ご支援をお願いします。【担当：益倉 克成、服部 龍雄】

三上山

標高 432m の平野部で浸食から取り残された残丘であるため、目立った山容です。その形から「近江富士」とも呼ばれています。紫式部などにより和歌にも詠まれています。藤原秀郷（俵藤太）によるムカデ退治の伝説が残り「ムカデ山」とも呼ばれています。現在では、整備された野洲川の向かいの新幹線橋梁越しに山が見え現代的な景観になっています。

八幡堀

安土桃山時代に豊臣秀次の八幡山城の築城の際に、市街地と琵琶湖を繋ぐために造られました。これによる船や人の往来の増加によって、江戸時代には町の発展に大きく貢献しました。長く住民の心がけにより清浄さが昭和 20 年代まで守られていました。その後の昭和 40 年頃の下水の流入やヘドロの堆積による水質悪化により堀の埋め立て計画もありましたが、市民全体の取り組みにより堀の復活と堀を取り巻く街並みの保全が行われています。現在では、水都めぐりの遊覧船として舟運も復活しています。



4 野洲川

琵琶湖流入河川で最大の流域面積です。かつては、下流部で、南流と北流に分岐し、狭く屈曲した天井川になっていたため、大水害が繰り返されていました。そのため、分岐の地点から直線的に新しい河川を造る工事が行われ、8 年間かけ 1979 (昭和 54) 年に完成しました。



湖西の多くの河川は、比良山系を水源とする流路の短い河川ですが、その一つが大宮川です。比叡山の東の玄関口である坂本には、日吉大社があり、また、全国に穴太積みとして知られた穴太衆の発祥の地でもあります。



日吉大社山王祭

日吉大社は 2000 年以上の歴史を持ち、全国 3800 余の日吉・日枝・山王神社の総本社といわれています。古事記にも登場しますが、その後、比叡山延暦寺の守護神として繁栄しました。



坂本の里坊の穴太積み石垣
坂本の街並みを特徴づけるものが穴太積みの石垣です。自然石をあまり加工せずに組み合わせることが特徴と言われています。比叡山や全国の城郭の石垣づくりで有名になりました。

6 草津川

湖南の南湖への流入河川です。琵琶湖へ流入する河川の多くが、水源地域の山地からの土砂流出により天井川になっていますが、草津川も代表的なもので、かつてはJR 東海道線や国道 1 号などが、川の下をトンネルで通過していました。流域の開発の進展に伴う流量増に対する安全性の向上のために、2002 (平成 14) 年に放水路による下流部の付け替えが完成し天井川が解消しました。

金勝寺

草津川の支川の金勝寺川沿いの曲がりくねった林道を上った所にあります。奈良時代に良弁僧正により開基されたと伝えられる寺院です。かつては、湖南の仏教の拠点として栄えていました。現在も、参道を登ったところにある仁王門の両脇の大きな木造仁王像が有名ですが、境内には本尊の木造釈迦如来坐像（平安時代）を始め、4 体の重文の像が安置されています。山中にこのような文化財が存在することで、滋賀県の歴史の深さを感じられます。



彦根城と善利組足軽屋敷

善利組足軽屋敷は、約 400 年前の彦根城築城と共に設置された 5 組の足軽屋敷の一つで規模が最大のものでした。幕末では 700 戸余でしたが、現在では外装に変化はありますが 30 戸程度がそのままの姿で残っています。地域内の区画や道路は江戸時代のままで残され、城下の防御のための「どんづき」や「くいちがい」などの通りの構えがそのまま残っています。

また、当時のままの辻番所では、「くいちがい」を利用して、二方向が見張れるように工夫されました。



芹川（善利川）は、下流で彦根市の旧市街の南を通過して琵琶湖に流入しています。彦根城築城以前は、最下流部が北西に流れましたが、城下町の用地の確保と防衛のために、現在の西流に付け替えられました。現在の堤防にはケヤキなどの大木がならんでいます。



海津大崎の桜並木

琵琶湖の最北端の桜並木です。約 800 本のソメイヨシノが湖岸の 4km にわたり続いています。淡水の湖のため湖岸近くまで桜が生え、広い水面に桜が映える眺めは盛観です。海津大崎は、琵琶湖八景「曉霧・海津大崎の岩礁」としても知られる景勝地で、びわ湖唯一の岩礁と、湖の碧、遠くに望む竹生島などとの桜のコントラストも見ものです。桜を後世に伝えるため地元の団体による保全活動の取り組みが行われています。開花時には多くの観光客でにぎわっています。

1 琵琶湖最北部



安曇川は、琵琶湖流入河川の中で湖東の野洲川に次ぐ第二の河川です。中流部には朽木の里、下流部では上流からの土砂の堆積により天井川が形成され、河口部には大きな三角洲が形成されています。

2 安曇川

興聖寺

室町末期に將軍足利義春が都の戦乱を避け朽木の里に逃げ延び、領主の朽木種綱の居館に仮御所が建てられ、そこに造られた庭園が現在の興聖寺にある「旧秀隣寺庭園」です。その後に、安曇川の対岸にあった興聖寺がこの土地に移転しました。

朽木渓谷

安曇川の渓谷で「近江耶馬溪」とも呼ばれ、釣り人や子供たちの川遊びで賑わっています。秋には渓谷一面の紅葉で有名です。



高島市新旭町針江と今津町の「かばた」

安曇川下流部の針江には、湧水を生活用水に巧みに利用する工夫として「かばた」があります。20m 程度の地下から自噴する地下水を取り入れ飲料水として使う「元池」、洗い場として利用する「壺池」、水路に流出する前に排水を貯留する「端池」（ここにはコイなどが飼われています）で構成され、琵琶湖に通じる水路に汚濁した水が流出しない工夫がされています。また、針江と隣接した今津町の日置前の地区などでも同じような「かばた」による水利用の工夫が行われています。どちらの地区でも、水の使い方の工夫により、琵琶湖を守る気持ちが伝わってきます。



3 芹川

芹川（善利川）は、下流で彦根市の旧市街の南を通過して琵琶湖に流入しています。彦根城築城以前は、最下流部が北西に流れましたが、城下町の用地の確保と防衛のために、現在の西流に付け替えられました。現在の堤防にはケヤキなどの大木がならんでいます。

悠久の琵琶湖に変化が… 深呼吸を止めた平成のマザーレーク

株式会社近畿地域づくりセンター 水環境研究所 所長 もりた ひろし
気象予報士 森田 宏

世界でも最も古い湖のひとつに数えられる琵琶湖。四季を通じて人々を潤し、生物の多様性と人々への恵みを支えてきたマザーレーク。新しい令和の時代をどう迎えるのか。琵琶湖の深呼吸とも呼ばれる少し変わった現象の「全層循環」を取り上げてみました。

1. 気候変動と琵琶湖の水温変化

直ちに現れる訳ではありませんが、大きなスイングをしながら、確実にダメージを与え進行しているようです。

彦根の気温及び琵琶湖水温の経年変化をみると、やはり上昇傾向にあることが見て取れます。水温が上昇するとDO（溶存酸素）が低下する

ことで、様々な生態系への影響や水環境の変化が予想されています。外来種のインバクトと合わせて、これから琵琶湖を守るために、注視していく必要があります。

いく必要がある

図1 彦根の気温と琵琶湖（水深10m）の経年変化

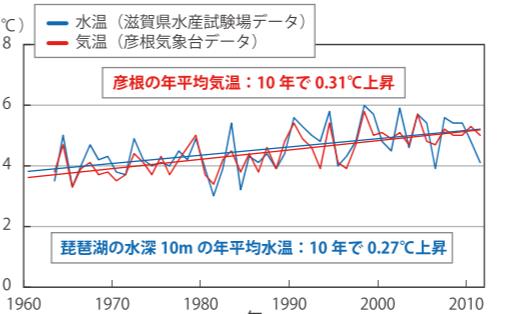


図1 彦根の気温と琵琶湖（水深10m）の経年変化

この4月に滋賀県
【全層循環】完了
なデータを発表しま
酸素を多く含む表層
渡る全層循環が、1
以降、初めて完了し
ものです。

の水が沈降し、低酸素状態の底層の水と混ざり合う現象です。

響で時期が遅れ、水深80 m程度まで
は循環が確認されました。第一湖
盆(今津沖の水深90 mの調査地)に
では4月までに確認できず、それ以
降は水温上昇が始まり、水温躍層が
形成されつつあることで、今年の「全

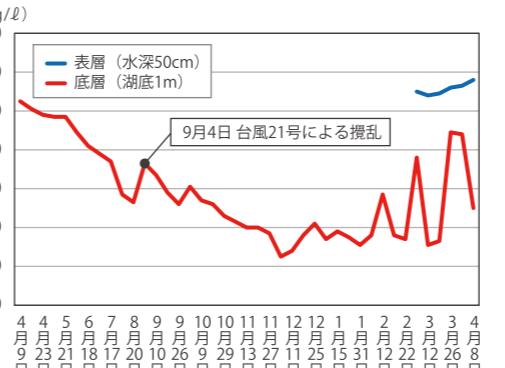


図2 湖底部（今津沖中央）のDOの変化(滋賀県データ)

3. 講習会の環境について

地球温暖化が進行すると、巨大台風の発生や渇水の長期化など、極端現象が増えることが予想されています。全層循環の原因は特に冬場の気温が大きく影響していることは否めません。

水質調査は、国土交通省、水資源機構及び滋賀県で継続的に実施されています。自然豊かな悠久の湖「マザー・レーク」の環境を守るためにも、モニタリングを継続し監視していくかな

起こり、表層から底層で水温やDOなどの水質が一様となります。

第一湖盆では、例年2月上旬から中旬にかけて、全層循環が確認されているようです。

風の発生や渴水の長期化など、極端現象が増えることが予想されています。全層循環の原因は特に冬場の気温が大きく影響していることは否めません。

し、漸増傾向にあります。この原因はよくわかつていません。

気候変動のみならず、外来種の影響や人間の生活・生産活動も相まって、これからも予期できない環境変化の発生が予想されます。琵琶湖の水質調査は、国土交通省、水資源機構及び滋賀県で継続的に実施されています。自然豊かな悠久の湖「マザーレーク」の環境を守るためにも、モニタリングを継続し監視していくかな

表1 近年の全層循環認定	
平成 18 年度	※ H19.3
平成 19 年度	H20.2
平成 20 年度	H21.2
平成 21 年度	H22.2
平成 22 年度	H23.1
平成 23 年度	H24.2
平成 24 年度	H25.1
平成 25 年度	H26.2
平成 26 年度	H27.2
平成 27 年度	H28.3
平成 28 年度	H29.1
平成 29 年度	H30.1

表1 近年の全層循環確認日	
平成 18 年度	※ H19. 3.19
平成 19 年度	H20. 2.12
平成 20 年度	H21. 2.23
平成 21 年度	H22. 2. 8
平成 22 年度	H23. 1.24
平成 23 年度	H24. 2.13
平成 24 年度	H25. 1.29
平成 25 年度	H26. 2.17
平成 26 年度	H27. 2. 2
平成 27 年度	H28. 3.14
平成 28 年度	H29. 1.26
平成 29 年度	H30. 1.22

※これまで最も遅く全層循環を確認
(滋賀県データ)

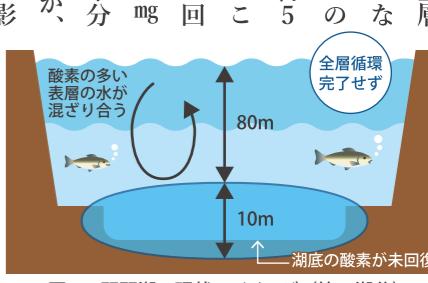


図3 琵琶湖の現状のイメージ（第一湖盆）

表1 近年の全層循環認定	
平成 18 年度	※ H19.3
平成 19 年度	H20.2
平成 20 年度	H21.2
平成 21 年度	H22.2
平成 22 年度	H23.1
平成 23 年度	H24.2
平成 24 年度	H25.1
平成 25 年度	H26.2
平成 26 年度	H27.2
平成 27 年度	H28.3
平成 28 年度	H29.1
平成 29 年度	H30.1

生態系に関しては、近年、オオカナダモやオオバナミズキンバイといった外来水草の問題、かび臭や今までとは異なる植物プランクトンの増殖、アユの仔魚の激減などが伝えられており、気候変動との関連が予測されています。

また、水環境の基準としてきたCODについては近年BODと乖離し、漸増傾向にありますが、この原因はよくわかつていません。

気候変動のみならず、外来種の影響や人間の生活・生産活動も相まって、これからも予期できない環境変化の発生が予想されます。琵琶湖の水質調査は、国土交通省、水資源機構及び滋賀県で継続的に実施されています。自然豊かな悠久の湖「マザーレーク」の環境を守るためにも、モニタリングを継続し監視していくかな

◆江戸時代の 手形印とトンネル 西野水道



る余呉川の下流部にある江戸に造られた洪水防御のためのネルです。滋賀県の治水に開最も古い歴史的施設です。この点の長浜市高月町西野は、山また低地のため、当時浸水された被害が繰り返されていました。特に、1807（文化4）年洪水は、惨状を呈し、地元の莊上人が彦根藩や幕府を説得して、住民の協力により造成されました。1840（天保11）年に人力による掘削が開始され、岩盤の硬さ、落盤事故、資金不足を乗り越え、1845（弘化2）年に長さ220m、幅1・2m、

A photograph showing a traditional Japanese procession, likely yamabushi (mountain ascetics), walking along a path next to a railway track. The participants are dressed in traditional dark robes and hats. Some individuals carry large red umbrellas or lanterns. To the right, several vertical banners are hanging from a line, one of which clearly displays the characters 'お節参り' (Osho Matsuri). The background shows a lush green forest and hills under a clear sky.

世界の水

水辺空間を生かした都市再生の事例 —ヨーロッパ(その6)コツツウォルズ地方の水辺その2—

工博博士・元大阪産業大学教授
なかの まさひろ

中野 雅弘



はじめに

前回は英国内陸部の田園地帯にあるコツツウォルズ地方の村々を紹介しましたが、今回も引き続きバイブリーからさらに地方の南部を訪れ、その地方を流れる川とともに点在するいくつかの村々を訪れます。点々と続く林を抜け、始終すばらしい展望に恵まれ、緩やかな傾斜の草道が続く牧場や牧草地を味わうことができます。

1. 珠玉の村々

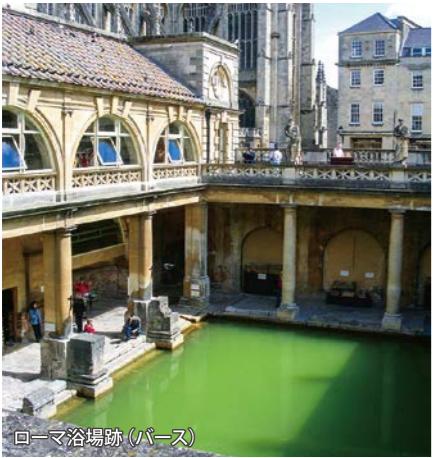
ロンドンの西方約200kmに広がるコツツウォルズの丘陵地帯には、時計が止まつたかのように時代を忘れさせる雰囲気があり、都会に暮らすイギリス人をも魅了する小さな村々が点在しています。



2. バース

この地方の南の端にあるバースは、英國がまだローマ帝国の支配下にあった時代に浴場が作られたことが有名で、付近にはエイヴォン川が流れています。同じエイヴォン川でも、シェイクスピア生誕の地ストラットフォード・アポン・エイヴォンを流れ、これに架かるパルトニイ橋は三連の優雅なアーチで有名です。これまでエイヴォン川を渡る手段は渡し舟でしたが、地主のウイリアム・パルトニーは自己の領地を発展させ

なお、バース近くのイギリス南部



パルトニイ橋下流の落差工

18世紀後半に建てられたパルトニイ橋。橋の両側には建設当初からの店舗など

るため橋を架けるのが得策と考え建

設しました。

橋の下流には、川の流れを緩やかにし河床や橋脚の洗掘を防ぐ目的の落差工があり、馬蹄形の美しい流れを演出しています。川岸へは階段が設置され、そこから橋を眺めることができます。遊歩道も設けられ、橋と川を眺めながらゆっくり散歩ができる、バースの雰囲気を楽しめる水辺空間となっています。

バースにはローマ時代に浴場が造られた。18世紀には劇場、舞踏会場などを建設、貴族たちの社交場となり、優美なシンメトリーが特徴のジョージ王朝様式の建物が残る市街地は世界遺産に登録されています。



村全体をナショナル・トラストが管理

2) カツスルクーム

かつて羊毛産業で栄えたカツスルームですが、19世紀より広まつた鉄道建設から外れていたため、村の産業は衰退し、産業革命からも取り残された結果、500年前からほとんど変わらない景観を維持しています。はちみつ色のれんが造りの、こぢんまりとした家々が並ぶ静かな空間は、



まるで中世の時代に逆戻りしたかのようなスローな空氣で満たされています。バイザブルック川越しに見る、古めかしいアーチ型のバックホース橋がかかり、この橋からもフットパスが始まつており周囲の緑は四季折々にその眺めを変えます。



町の広場には、14世紀に建てられたモニュメント「マークット・クロス」が佇んでいます。数百年変わらずこの村を流れるバイザブルック川には、古めかしいアーチ型のバックホース橋がかかり、この橋からもフットパスが始まつており周囲の緑は四季折々にその眺めを変えます。

町の広場には、14世紀に建てられたモニュメント「マークット・クロス」が佇んでいます。数百年変わらずこの村を流れるバイザブルック川には、古めかしいアーチ型のバックホース橋がかかり、この橋からもフットパスが始まつており周囲の緑は四季折々にその眺めを変えます。

ウイルトシャー州には、世界遺産に登録されている巨石記念物の環状列石遺構ストーンヘンジがありますが、別の機会に紹介させて頂きます。

さいごに

2回にわたって英国南西部グロスター・シャー州にあるコツツウォルズ地方を紹介してきました。この地方を流れるいくつかの川が、テムズ川を流れ、これらが合流してテムズ川へと流れています。この川が、テムズ川を流れ、これが運河として、緑地を探すのに苦労する人が多いですが、人々が自然とともに愛らしい家など時が止まつたかのようにどかな暮らしを営み、緑の丘と大きな田園風景が見られます。

我が国の都市周辺はそのまま市街地が連坦して、緑地を探すのに苦労することが通常であります。かつて周辺部は「グリーンベルト」で囲む構想がありましたが、経済発展が優先されいつの間に忘れられてしましました。これは電線の地中化（無電柱化）の動きにも通じると、ふと思いました。これからのが国は成熟した国として、古いものを残し新しいものを取りいれつつ自然や環境を保護するために、国民の意識改革とそれを支える制度設計がそろそろ本格的に必要な気がします。

水と文学

評論家・文化プロデューサー 河内厚郎
かわうち あつろう



エビスの前身、ヒルコ

文楽の人形遣いが人形を遣う、床より低いところが「船底」と呼ばれるのは、人形を船上で操り、観衆は陸から眺めていた時代の名残りとされている。内陸部にルーツのある猿樂や能楽とことなり、内海の沿岸部で育った傀儡（人形操り）の芸能が水と縁の深かったことは、人形芝居の発祥起源説話からも窺い知ることが出来る。和田（神戸市兵庫区）の海上に現れたヒルコ神を摂津国

の海浜に祀り、人形を操って慰めたという百太夫正清は、のちに淡路島へ渡って人形淨瑠璃の祖になつたと伝えられてきた。

「伊邪那岐伊邪那美二柱の神が生み給いし御子」蛭兒の神は、三歳になるまで足が立たぬ、不具の子であった。二柱の神は、吾が子を哀れと思いつつも、葦船に入れて茅渟の海（大阪湾）へ流した——。そう日本神話



海上渡御

ヒルコの正体は？

渡御（産宮参り）は、京都の祇園祭が陸のパレード、大阪の天神祭が川のパレードなら、海のパレードと呼ぶにふさわしい祭礼だが、織田信長の社領没収により廃絶していた。それが平成12（2000）年、約4世纪ぶりに復活したのである。

テレビのワイドショーがこぞつて報じる十日戎の開門神事を見る限り、ネアカな印象に映る「えべっさん」だが、その原像、前身は、歴史の翳を秘め、謎めいている。

昏い出生の秘密を背負ったヒルコとは、はたして、何者であろうか？

イザナギ・イザナミの二神は、海上に漂うクラゲのような国土を固めるべく、天の浮き橋から矛で海をかきまわし、出来上がったオノコロジマで結婚。淡路島や大八洲（本州・四国・九州…）の島々をはじめ森羅万象の神をもうけたが、ヒルコだけが日本の神々に受け容れられず追放されてしまつた理由について、『古事記』には、女神イザナミから先に男神イザナギに声をかけたことで不具の子に産まれたため、葦舟に入れられ、

が記すヒルコ神が、大阪湾へ突き出すように伸びる、和田岬の沖に現れたのを祀ったのが西宮戎のルーツである。その沿革をさかのぼるべく、旧暦の8月22日、西宮神社の御神体が和田岬まで神幸していたことは、中山忠親が記した日記『山槐記』や、鎌倉時代に描かれた絵巻物『一遍上人絵伝』等で知ることができる。

『山槐記』では、治承4年（1180）、忠親が新都の福原（神戸市兵庫区）へ向かう途中、西宮で一宿した8月22日。ちょうど神輿の神幸がおこなわれており、その到着時間が午後8時で、2時間の間に還幸せられる間、氏子たちの心のどよめきを感じ取りつつ、和田でおこなわれているはずの行事を想像しながら当夜のことを雄弁に物語っている。

『一遍上人年譜略』には、「弘安10年2月詣西宮大明神、神主帰依渴仰」（弘安10年、1287）の記事があり、往路は幾艘もの船を旗や幕で飾つて海上ところ狭しと連ね、和田岬から西宮までの陸路六里（約24キロ）をその日のうちに還つてくる海上船七百年遠忌にあたる）

オノコロ島から流されたとある。

『日本書紀』では、イザナミがイザナギに声をかけ、淡路島、次にヒルコを産んだが、三歳になつても脚が立たなかつたので、堅固な楠で造つた天盤櫟樟船で流したとあり、中世以降に起つた蛭子伝説は、主にこの書紀の説を基にしてきた。

鎌倉時代の『源平盛衰記』によると、ヒルコは摂津国に流れ着いて海を領する神となり、夷三郎殿として西宮に現れた（西宮大明神）とある。

このようにヒルコとえびす（恵比寿・戎）を同一視する説は、古今集注解や芸能等を通じ広く浸透していく。（蛭子と書いて「えびす」と読むこともあり、そう名乗る芸能人がいる）。

一方、ヒルコとは、日る子（太陽の子）であり、尊い「日の御子」であるがゆえに流されたとする貴種流離譚に基づく解釈では、日の御子を守り仕えたのがエビスだとする。さらに日本人の心の古層、集合的無意識にふみこんだ注目すべき説がある。太陽の女神アマテラスに対し、ヒルコという呼び名は太陽の男性神（日の子）を指すのであるまいか

『一遍上人絵伝』にも正応2年

（1289）8月22日の神幸が述べられている。（出雲の阿国ではなく）踊り念仏で各地を遊行し民衆を熱狂させた時宗の開祖・一遍こそが歌舞伎の祖と歌舞伎俳優の片岡我當が説

「さらば今日は延べこそせめ（それなつたが、22日西宮の神幸と聞いて、危篤を1日延ばしたこと）と、

「さらば今日は1日命を延ばそう」と、危篤を1日延ばしたこと）と、

「さらば今日は1日命を延ばそう」と、危篤を1日延ばしたこと）と、

危篤を1日延ばしたこと）と、

工学博士 宮井 宏

1. 台風13号による宇治川 左岸の破堤

昭和28年9月台風13号による淀川の大水害(II)

前号で紹介しましたように、台風13号による洪水で9月25日14時50分に淀川右岸の松尾川が、また16時30分には淀川右岸の芥川が女瀬川との合流点で決壊しました。

9月25日21時30分、近畿地方建設局(現近畿地方整備局)、以下

近畿地建(いう)は淀川洪水警報第3号「その後の水位状況より判断すれば、淀川は未曽有の増水を来し、枚方の水位は22時頃7mを越え、なお26日4時頃まで増水し、最悪の場合は破堤のおそれがあるから厳重なる警戒を必要とします。(後略)」

洪水警報第4号、第5号を発表し、併せて同警報の解除も行ないました。

洪水警報第3号が発令されたその30分後の22時、枚方水位は予測水位7mを下回る6.52mとなり、その10分後には淀川工事事務所に「宇治川の向島で堤防が切れた」との連絡が入りました。この情報は直ちに土佐堀の近畿地建にも連絡されました。

近畿地建では枚方の水位23時に6.95mと、23時15分にピーコック水位6.97mを確認の後、淀川の水位はこれ以上上がらないとして淀川

佐堀の近畿地建にも連絡されました。また表-1をはじめ本文では、水位、堤防高、地盤高等はすべて標と桂川の納所量水標の平均値をもって、三川合流点の水位としました。また表-1を二つに分けて図示すると

表-1は、9月25日13時から26日12時迄の宇治から下流、向島、三栖、淀および淀川三川合流点までの水位変化を1時間ごとに示したものです。但し、28年当時は、三川合流点に量水標が設置されていなかったので、表-1では止むを得ず木津川の八幡量水標と桂川の納所量水標の平均値を用いています。

図-1(a)は25日13時から22時の水面形を示しています。図-1(a)、(b)の折れ線を左から右に見てきますと、淀から淀川三川合流点までの水面形と流向が読み取れます。水面形が右下がりの区間では、流れは上流から下流に向かって流れています。淀の間で行き場を失い、水位がどん

ぶりの区間では、流れは下流から上がりの区間では、流れは上流から上流へ逆流しています。

図-1(a)の25日13時から22時の水面形を見ますと、上流からの流れと下流からの逆流が向島、三栖、淀の間に逆流しています。

図-1(a)は25日13時から22時の水面形を示しています。こうした要望を受けた、近畿地建、淀川工事事務所、洗堰監視所(現琵琶湖河川事務所)の不眠不休の努力はこれからも続きます。先に述べた「宇治川の向島で堤防が切れた」という22時10分の淀川工事事務所への報告と良く符合しています。そしてその12時間から14時間後、つまり26日10時から12時には三栖の水位が一定値15.28mとなっていました。

量水標	宇治	向島	三栖	淀	三川合流点
25日13時	16.541	12.646	12.5	13.372	14.9565
14時	16.641	13.016	12.82	13.572	15.1065
15時	16.991	13.516	13.68	13.702	15.3465
16時	17.641	14.316	14.32	14.202	15.9215
17時	18.241	15.086	15	14.782	16.5115
18時	18.741	15.986	15.75	15.452	17.0965
19時	18.841	16.796	16.44	15.922	17.3815
20時	19.071	17.216	16.82	16.532	17.8015
21時	18.841	17.476	17.15	17.132	17.9865
22時	18.641	17.586	17.53	17.522	18.0815
23時	18.441	16.916	16.59	17.222	17.8315
24時	18.391	16.506	16.45	16.842	17.6165
26日	18.391	16.266	16.28	16.542	17.4665
2時	18.241	16.046	16	16.292	17.2665
3時	17.941	15.856	15.78	16.102	17.0215
4時	17.741	15.706	15.6	15.842	16.7915
5時	17.441	15.476	15.51	15.642	16.5415
6時	17.241	15.496	15.42	15.562	16.4015
7時	17.141	15.446	15.34	15.342	16.2415
8時	17.081	15.406	15.3	15.322	16.2015
9時	17.041	15.366	15.29	15.242	16.1415
10時	16.941	15.366	15.28	15.202	16.0815
11時	16.941	15.366	15.28	15.142	16.0715
12時	16.921	15.366	15.28	15.142	16.0315
堤防天端		18.968	18.912	18.698	

表-1 宇治～三川合流点迄の水位の時間変化(水位、堤防高はOP(m))



図-1(a),(b) 宇治～三川合流点迄の水面形の時間変化

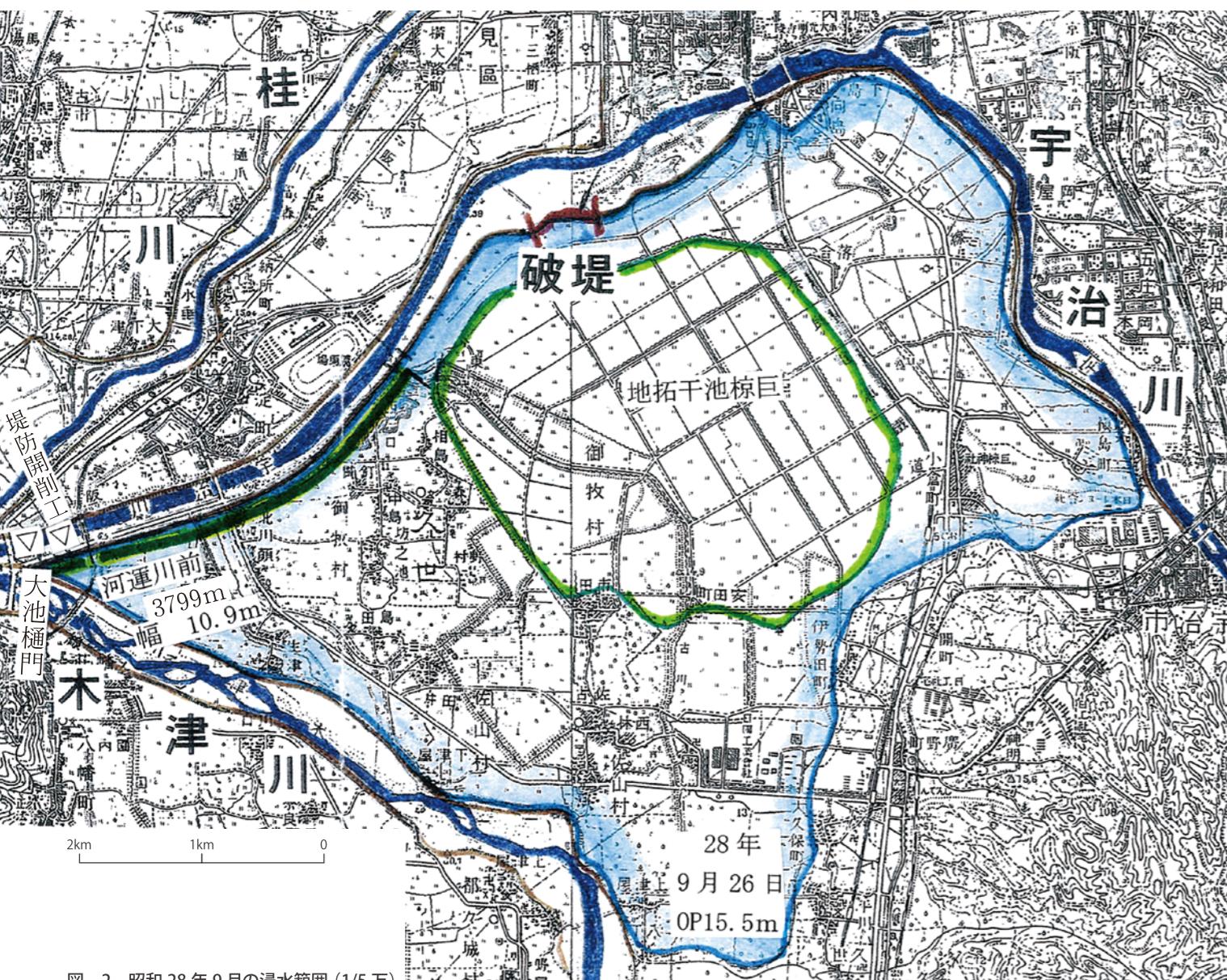


図-2 昭和28年9月の浸水範囲(1/5万)

なんとか一刻も早く下げて欲しいという要望が出て欲しいといふとおり、本年の9月26日14時頃からは三川合流点の水位低下によります。しかし排水して欲しいとの要望が出されながら見ればあまりにも遅々として動きなので、一刻も早く排水して欲しいとの要望が出てきますし、滋賀県民からも1mも

高くなつた琵琶湖水位を大きく下げる必要があります。そこで、本年の9月26日14時頃からは三川合流点の水位低下によります。しかし排水して欲しいとの要望が出てきますし、滋賀県民からも1mも

高くなつた琵琶湖水位を大きく下げる必要があります。そこで、本年の9月26日14時頃からは三川合流点の水位低下によります。しかし排水して欲しいとの要望が出てきますし、滋賀県民からも1mも

4. 大池樋門の爆破

大池樋門は、明治の淀川改良工事

すから、三栖の対岸の向島(正確には、京都市伏見区向島大黒)の堤内氾濫水位と宇治川の水位が同じ高さになつて水の出入りがほぼ無くなつたというこということが分かります。(なお文献「二八年大水害」堤防が切れた(巨椋池土地改良区編集・発行)によりますと、最高水位は排水機場で26日12時に15.5mとなつており、本文の15.28mとは22cmの差があります。)26日14時頃からは三川合流点の水位低下によります。しかし排水して欲しいとの要望が出されながら見ればあまりにも遅々として動きなので、一刻も早く排水して欲しいとの要望が出てきますし、滋賀県民からも1mも

高くなつた琵琶湖水位を大きく下げる必要があります。そこで、本年の9月26日14時頃からは三川合流点低下によります。しかし排水して欲しいとの要望が出てきますし、滋賀県民からも1mも

高くなつた琵琶湖水位を大きく下げる必要があります。そこで、本年の9月26日14

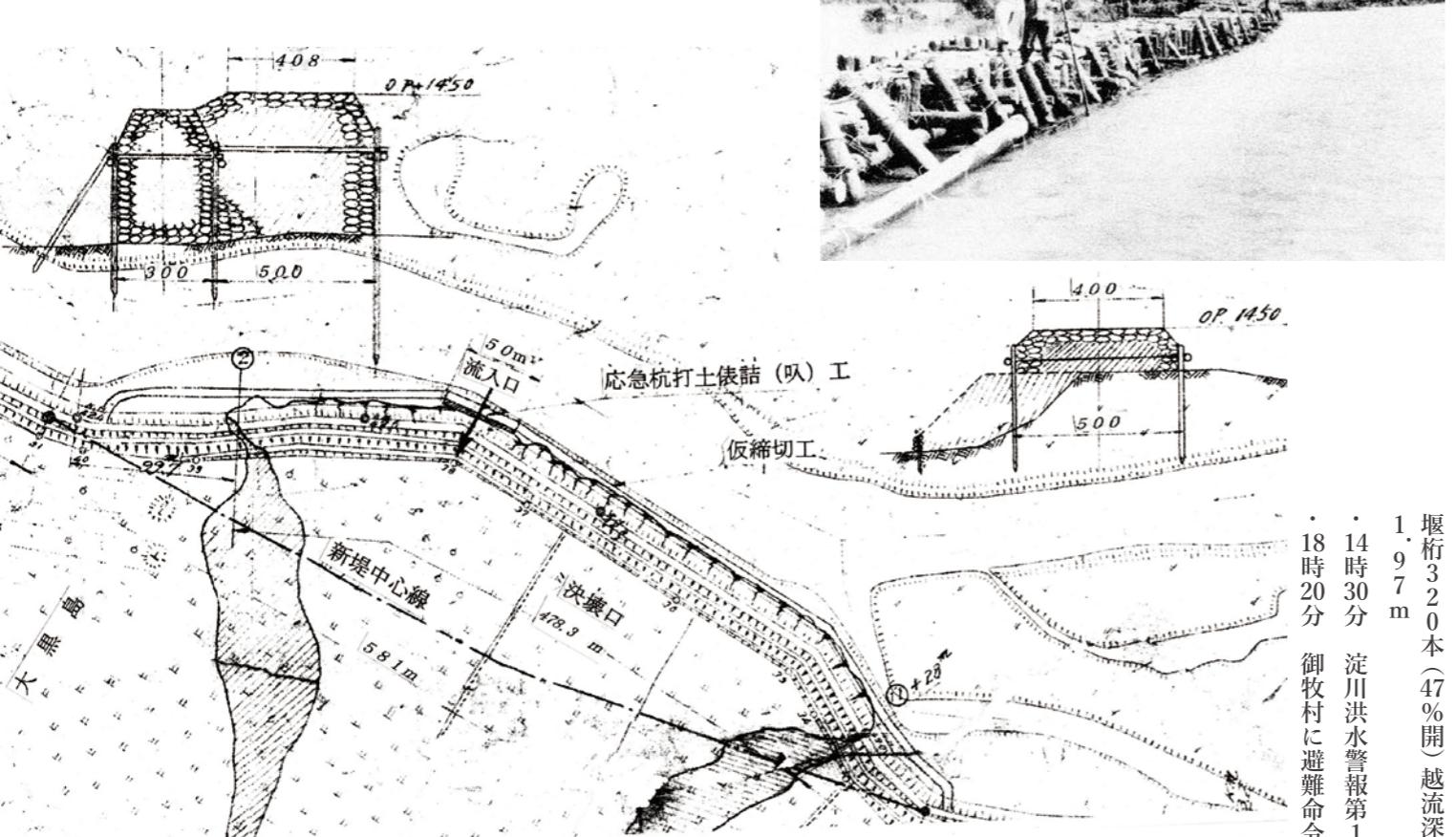


図-3 向島災害箇所平面図、右上方の写真は宇治川決壊口応急復旧作業（宇治市歴史資料館蔵）

堰桁320本(47%開) 越流深 1.97m	・20時 淀川洪水警報第1号
・14時30分 淀川洪水警報第1号	・21時30分 近畿地建最悪事態宣言
・18時20分 御牧村に避難命令	・21時45分 瀬田川洗堰全閉指示
・22時10分 宇治川観月橋下流左岸(向島)で破堤	・22時10分 宇治川観月橋下流左岸(向島)で破堤
・23時~26日 3時 琵琶湖水位0.53~0.90m 1.06m	・23時~26日 3時 琵琶湖水位0.53~0.90m 1.06m
・26日 2時45分 瀬田川洗堰全閉操作中止	・26日 2時45分 瀬田川洗堰全閉操作中止
・49月26日 17時~24時 0.95~0.95m 416本	・49月26日 17時~24時 0.95~0.95m 416本
・59月27日 8時~9時30分 0.96~0.97m 384本 (37%開) 越流深1.85m	・59月27日 8時~9時30分 0.96~0.97m 384本 (37%開) 越流深1.85m
・69月27日 20時40分~22時30分 1.00~0.99m 342本 (44%開) 越流深2.19m	・69月27日 20時40分~22時30分 1.00~0.99m 342本 (44%開) 越流深2.19m
・710月2日 午前8時30分 全開作業開始 3日 午前4時20分 全開作業完了 260本を開石桁40本は残す。(93%開)	・710月2日 午前8時30分 全開作業開始 3日 午前4時20分 全開作業完了 260本を開石桁40本は残す。(93%開)
・89月25日 21時45分の洗堰全閉指示までが「8日ぶりの全開」と言われています。	・89月25日 21時45分の洗堰全閉指示から10月2日 8時30分の全開指示までが「8日ぶりの全開」と言われています。

昭和28年9月1日~5日(台風シーズンの琵琶湖の迎洪水位)の琵琶湖水位は0.07mとなっています。昭和28年9月1日~5日(台風襲いつつありますと台風13号が来襲して25日夕方まで近畿一円に強雨が降り続きました。琵琶湖水位は25

で宇治川と巨椋池が堤防により離されたときに、巨椋池の悪水を宇治川に排出したり、宇治川を往来する船が巨椋池へ出入りするために作られた樋門です。したがって堤内側には樋門に接続して堤防法裾に沿つて開削された排水路兼運河の前川運河があり、その延長は3799m、水路幅10.9m、水深1.52m、運河堤防の高さは2.58m、天端幅1.8mもある立派な水路でした。また、大池樋門はレンガ造りアーチ型で、径間5.45m、高さ5.15m、長さ9.09m、門扉は鉄骨木製の自動開閉合掌扉で、平常は悪水を通し洪水時には自動的に閉じて宇治川の逆流を防止しました。

ところがこの樋門は老朽化のため漏水が激しくて地元の評判も悪く、「害あって益なし」とまで言われており、13号台風による水害直前(6月)に既に閉鎖工事が行わっていました。丁度このようなときに宇治川決壊がありましたので、「袋水」となっている巨椋池干拓地一帯の水を排水するためには当然のことながら「大池樋門を爆破すべし」という声が高くなり、9月28日早朝京都府知事の要

8時に第1、第2の樋門が、続いて第3、第4の樋門が爆破され、毎分2000トンの水が渦を巻いて放出されたという事です。

5. 決壊口仮締切工事

本節では、淀川工事事務所の「向島災害箇所平面図」、「久御山町史第一巻」、「二八年大水害～堤防が切れた」(巨椋池土地改良区編集・発行)等を参考にさせて頂きました。

図-3は「向島災害箇所平面図」です。決壊口の場所は平面図に大黒島とあるように、堤防ができる前は宇治川の中州だったようですが現在は京都市伏見区向島大黒となっています。仮締切工事は9月27日夕刻から始まりました。近畿地建の指導により、連日アーチ灯や松明をつけて地元消防団、青年団など約600人が徹夜で敢行したので、10月1日19時30分に至り、遂に全長450m、4200

均2cmずつ水位を下げて、約900

工の天端高さはOP14.50mです。

新堤の延長は581mです。

決壊口締切工事は9月27日夕刻から始まりました。近畿地建の指導により、連日アーチ灯や松明をつけて地元消防団、青年団など約600人が徹夜で敢行したので、10月1日19時30分に至り、遂に全長450m、4200

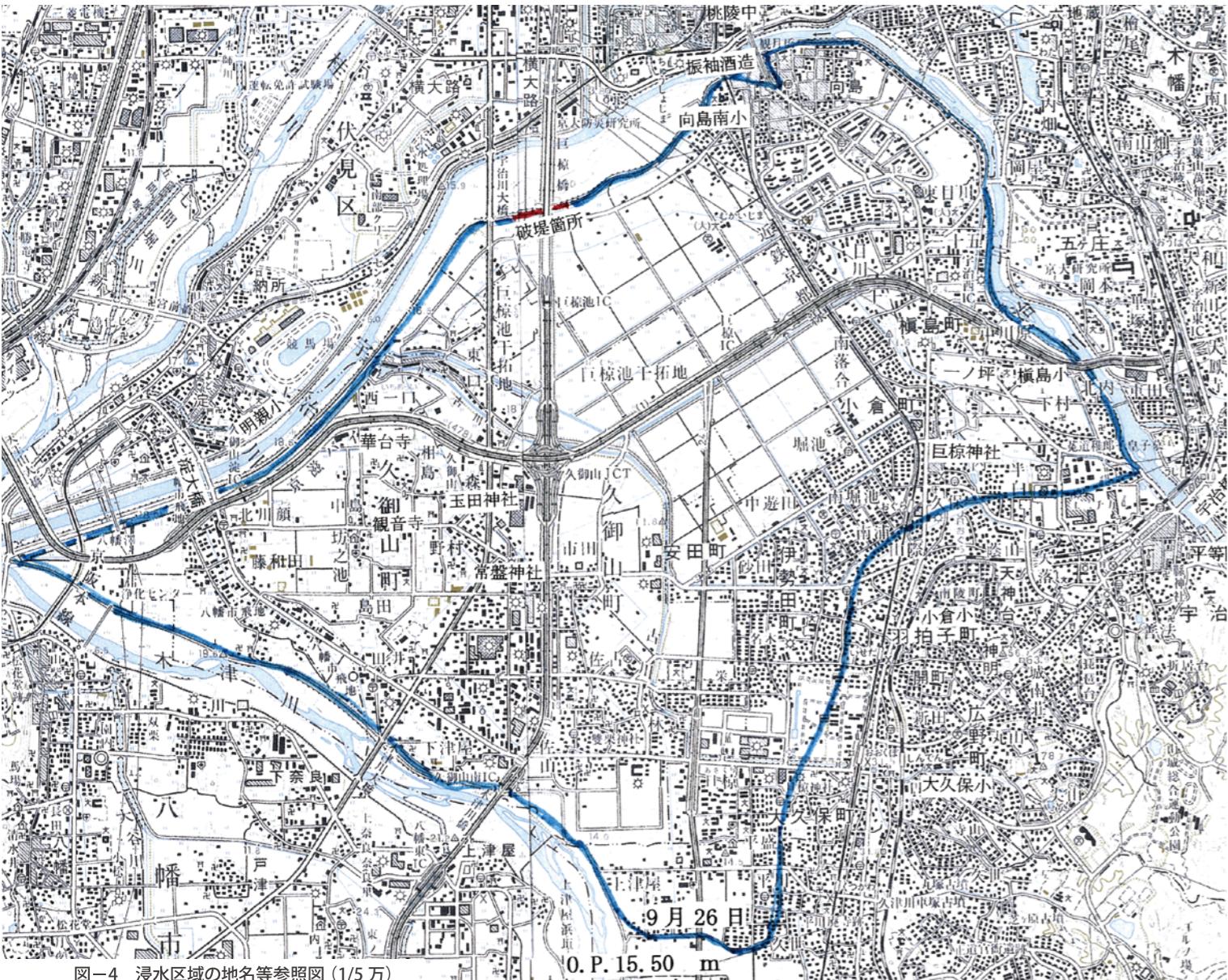


図-4 浸水区域の地名等参照図(1)

の光は見るまに輪を広げて、一〇分とたたぬ間に、ごうごうと水の音がきこえてきた。流木がべき流に乗って、矢のようになに速かったおそろしさは、今だ忘れることが出来ない。(ちょうど九時すぎであったと思う)一日の在所は土地が高く巨椋池が遊水池の役目をはたしてくれたので私の家に水がはいつて来たのは、明け方近くで

農協の倉庫も米が残ってたままで屋根だけ水面に浮いていた。道路も橋も田畠もみんな水の底にしづみ、全く手がつけようのない状況だ。そのような中で人々は、建設省の堤防復旧工事、その他に行つてかせいだのである。復旧工事は、昼、夜あり、私は夜業にまわり、夕方、弁当をもつて家を出て、朝帰るという変則的な生活を経験した。自然と人間の力の差をさまざまと見せつけられた二八年水害は、いろんなことを教えてくれた。(後略)」

めつた。庭に下駄やくつがういて流れれたようすは、思い出してもゾッとする。稻の穂は出そろつたところでめつたが、排水機場が浸水して排水がおくれ一つぶもしゅうかくが出来なかつたのである。もちろん畑のやさいもぜんめつしたのである。**北川**より舟でぎりめしや野菜の配給をうけての生活が、お寺の本堂で続いた。**相島**、森、野村、中島、坊の池が島のように見え、その間を土色した赤い水が風にあおられて湖のよに大きな波を打っている。その上をいかだを組み、三・四人で一生懸命こいで安養寺までひなんした相島の人がいた。

7. 人々はどのようにして危機から脱出したか

と種の發芽したるものを持参して1日後、県および洗堰監視所に至り、これを示してこれまでの運動につき話す。

10月2日 琵琶湖水位0.89m、
8時30分全開作業開始、3日午前
4時20分終了。石柵40本は残す。越
流深4.38m

「破堤の部分がほとんど出来上がるの
で貴意に沿うよう取り計らう。」との
返事を貰い帰県。

第、直ちに多量の水を（洗堰より）排出させよう。」との返事。その後琵琶湖治水会は決壩口の工事を視察。

福 併間名等を追加しておきました。今後の災害に備えて、郷土を祀るためのウオーキングマップを作りました。

井で1・8m、下津屋で1・2m、御牧村で5mとなっています。何れの地点でも夜が明けて明るくなつた頃には既に水深が深くなつており、遠方の避

いぢり、いつわの体験話、同情に包めておくと役に立ちそうなお話をかります。久御山町の小学校4年生の一社会科教材に『水とのたたかい』があり、中務さんのお話もその中の一

8時30分全開作業開始、3日午前4時20分終了。石柵40本は残す。越流深4.38m

ほりますか、死者は0となっていきます。
これほど大きな水害であったにもかかわらず、人的被害を最小限に食い止められたのは、なんと言つても広大な巨椋池干拓地を身近に控えて、普段から自分たちの住んでいる家や学校の周囲の地形、地理、水利などに普段から関心をもつて見ていたことが咄嗟の避難行動に役立つたからではないでしょうか。

と、伏見区、宇治市、佐山村、御牧村、城陽町の水没区域内で「全部壊れた家」「流れた家」「半分壊れた家」の合計は901戸、これに「水につかつた家」を加えますと8422戸にもの

井で1・8m、下津屋で1・2m、御牧村で5mとなっています。何れの地点でも夜が明けて明るくなつた頃には既に水深が深くなつており、遠方の避

いぢり、いつわの体験話、同情に包めておくと役に立ちそうなお話をかります。久御山町の小学校4年生の一社会科教材に『水とのたたかい』があり、中務さんのお話もその中の一

保および小倉小にいち早く避難。逃げ遅れたお年寄り（過去の豊富な経験から浸水深等を熟知している）は翌26日、宇治保安隊、伊丹、枚方両駐屯部隊350人が屋根の上から鉄舟（渡河作戦用舟艇）に乗せて避難所へ。

（3）過去の「水害の記憶」を自分のものにしておく

巨椋池土地改良区編集・発行の「二八年大水害（堤防が切れた）」の「第

難場所で到達するのに困難にかかっています。25日の深夜くらいには避難行動を起こすことが肝要でしょう。

(2) 避難は迅速を貴ぶ

御牧村では9月25日 18時20分避難命令発令。淀町の明親小学校に分宿

いぢり、いつわの体験話、同情に包めておくと役に立ちそうなお話をかります。久御山町の小学校4年生の一社会科教材に『水とのたたかい』があり、中務さんのお話もその中の一

あつた。庭に下駄やくつがういて流れたようすは、思い出してもゾッとする。稲の穂は出そろつたところであつたが、排水機場が浸水して排水がおくれ一つぶもしゅうかくが出来なかつたのである。もちろん畑のやさいもぜんめつしたのである。北川顔より舟でにぎりめしや野菜の配給をうけての生活が、お寺の本堂で続いた。相島おじま、森、野村、中島、坊の池が島のように見え、その間を土色した赤い水が風にあおられて湖のようく大きな波を打つてゐる。その上をいかだを組み、三・四人で一生懸命こいで安養寺までひなんした相島の人がいた。

町で、宇治川、桂川、木津川の三つの川が合流しているが、桂川や木津川の水が上流に向かってきましたのである。水かさは目に見えて増し、午後八時すぎには、堤防上から手が洗えるほどになってきた。このままふり続くと午前三時には最高水位になると思われた。そうなれば、たとえ堤防が切れなくとも、両岸より水があふれて大変なことになるだろうとうう予感がしたので、どの農家も、かつていて牛を見殺しにしてはかわいそ

農協の倉庫も米が残ってたままで屋根だけ水面に浮いていた。道路も橋も田畠もみんな水の底にしづみ、全く手がつけようのない状況だ。そのような中で人々は、建設省の堤防復旧工事、その他に行つてかせいだのである。復旧工事は、昼、夜あり、私は夜業にまわり、夕方、弁当をもつて家を出て、朝帰るという変則的な生活を経験した。自然と人間の力の差をさまざまと見せつけられた二八年水害は、いろんなことを教えてくれた。(後略)」

由良川水害の歴史と防災対策（3）

（株）東京建設「ナルダント関西本社 講師 川合 茂

かわい しげる

前々回で由良川の簡単な紹介をし、前回で水害履歴について述べた。最終目標では、洪水対策とその効果について説明する。

5. 由良川の洪水対策

（1）洪水対策の要望の経緯

水害の頻発するところは、主に綾部より下流の福知山盆地とその下流の狭い谷底平野である。それは、福知山盆地で、上流からの水に最大支川の土師川の水が加わって流れが集中するためであり、その下流では盆地の水に牧川などの水も加わって、狭い谷間の平野部を流れるためである。



図-1 洪水対策の概要

京都府や国に由良川改修を強く要望してきた。明治6年から昭和18年の71年間に提出された請願・嘆願は14回にものぼる。その内、請願が実つたのは2回で、それも災害復旧で行われている。これらは、明治42年完成の福知山大堤防と昭和4年の岩沢堤（福知山大堤防の改修）である。由良川改修が進むのは、昭和22年からであるが、大きく進展するのは平成16年の水害以降である。

（2）由良川の洪水対策の考え方

洪水対策は、図-1に示すように、まず、上流部の大野ダムによって下流に流れの流量を減らし、中下流部では、より多くの流量を流せるよう堤防建設によって河川断面を大きくしている。福知山盆地では連続堤防であるが、その下流部は狭い谷底平野であるため、潰れ地を極力減らすため、地域水防災と言われる輪中堤と宅地嵩上げで対応している。

（3）河川整備の流れ

図-2は河川整備の流れを朱線で、

流域の地形等をらんだ総合的な治

水対策である。

